

# ドンと来た!! 2万7千人

「浜値朝市」では積丹の『旬』に参加者が長い行列を作っていました。名物の浜鍋も大好評で昼過ぎには完売。



今年も素晴らしい快晴に恵まれた会場には道内各地から約2万7千人が訪れ、ウニやエビなど採れたての海の幸を格安で提供する「浜値朝市」や、毎年恒例の直径150cmの大鍋で作るジャンボ浜鍋、姉妹都市である高知県香美市の鯉のたたきなどを合計14店舗の旬の味覚に舌鼓を打ちました。

一方、ステージでは、ソーラ

積丹町が誇る初夏の一大イベント、第8回「積丹ソーラン味覚祭り」(山本俊三実行委員長)が6月30日、美国漁港広場を会場に開催されました。

祭りの強豪チーム「平岸天神」と北海道大学「緑」による迫力の演舞、美国中学校や陸上自衛隊第11音楽隊などによる演奏や歌謡ショーで会場を沸かせました。

また、今年は新たな試みとして「ウニ剥きコンテスト」が開催され、参加者の方は初めて行う専用の道具を使用したウニ剥きの作業に苦戦しながらも真剣に取り組んでいました。

最後は夜空を彩る500発の花火が祭りの終わりを告げ、参加者の皆さんは十分に満足した表情で帰路につきました。



新しい試み「ウニ剥きコンテスト」  
上位入賞には丁寧な作業が求められました。



祭りを全力で盛り上げてくれた「平岸天神」(上)と北海道大学「緑」(左)。貫録の演舞で会場からは拍手喝采。



## 美国漁港では「水の事故ゼロ運動」

イベント会場に隣接する美国漁港では、ブルーシー・アンド・グリーンランド財団やウォーターセーフティニッポンなど関係団体の協力のもと「水の事故ゼロ運動」が開催され、ペットボトルを使った救助体験講座やダミー人形を使用した心肺蘇生法、ライフセーバーによる救助の実演などが行われ、参加者は水難事故への対処法を学びました。

また小樽海上保安部は巡視艇「やぐるま」による体験クルーズを行い、6回の運行で計60名が乗船しました。



▲巡視艇  
「やぐるま」

▼救助の実演





美国神社

野塚稲荷神社

梶武意稲荷神社

入舸稲荷神社

積丹神社

神威神社

今年も7月1日の積丹神社・野塚稲荷神社・入舸稲荷神社を皮切りに各神社の例大祭が行われ、やっこ行列やみこし、山車、子供たちや婦人部の方々による踊りなどそれぞれの地域の特色溢れるお祭りで賑わいました。その様子を一部写真で紹介します。

# お祭り



～小さな掌に大きな栄光～

## 古平野球 スポーツ少年団 全道・全国大会出場



### 積丹町の少年団員

6年生	越前	元喜	君
	入間川	陸翔	君
	長島	晃介	君
	長谷川	順信	君
	鈴木	邦隆	君
	小澤	一平	君
5年生	岡本	夏樹	君
4年生	佐藤	大海	君
	入間川	海星	君
	成田	覚理	君



美国小学校10名と古平小学校11名の総勢21名の球児で構成される「古平野球スポーツ少年団」が2つの大会でそれぞれ、全道大会、全国大会に出場する栄誉を手にしました。

6月22日から24日までの間、俱知安町で行われた「スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球後志大会」では7年ぶりの決勝進出を果たし、決勝では惜しくも敗れたものの、旭川氏で開催される北海道大会への出場を決め、6月30日に決勝戦を行った毎日新聞

社が主催する「くりくり杯少年野球選手権大会北海道大会」では、見事に17年ぶりの優勝を成し遂げ、8月中旬に埼玉西武ドームで開催される全国大会への切符を掴みました。

7月9日には役場を訪れ、松井町長へ全道・全国大会への出場を報告し、球児たちは賞状や盾、優勝旗を手に真つ青なユニフォームで堂々と登壇し、それぞれ自己紹介と抱負を述べ、松井町長の激励の言葉に真剣に耳を傾けていました。

主将の布谷航大君（6年古平）は「全道と全国で優勝出来るよう一生懸命頑張るので応援よろしくお願いします！」と元気よく抱負を語りました。

私たちの町の小さな代表選手達の活躍を期待しています。